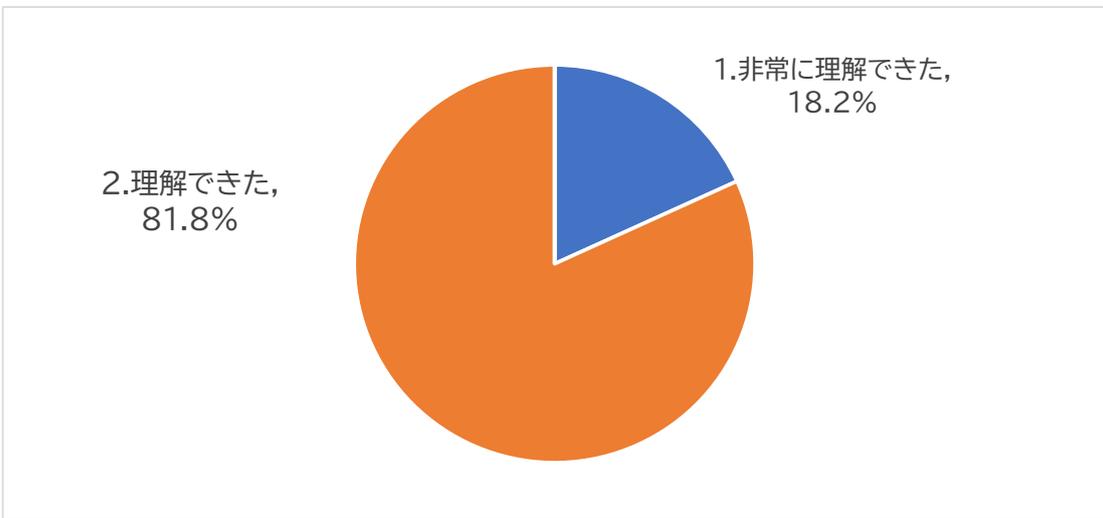


《調査概要》	回答期間: 令和6年11月6日～令和6年12月27日 回答方法: e-KANAGAWAにて回答 回答対象: 市民協働研修(若手職員)の受講者 対象者数: 23人 回答者数: 11人 回答率: 約48%	n = 11
	※問6 自由記述のみ。	

【問1】 今回の研修を受けて、協働について理解が深まりましたか。その理由をお書きください。

1.非常に理解できた	2	18.2%
2.理解できた	9	81.8%
3.あまり理解できなかった	0	0.0%
4.理解できなかった	0	0.0%



【非常に理解できた】

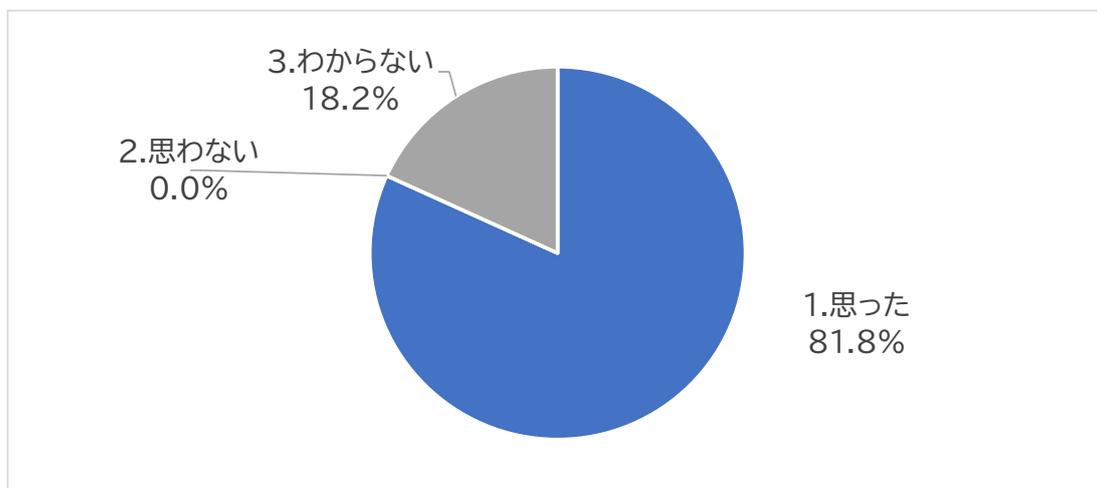
・協働はよく耳にする言葉だったが、今回の研修を受講したことで、協働についての理解が深まった。今後、市民や他団体・他部署と一緒に仕事をする時には、本研修で学んだことを生かして活動したい。

【理解できた】

・協働について考えることができたが、中々現在の自分の業務に落とし込みところまでイメージすることができなかった
 ・協働を推し進めていくには、相互理解が必要不可欠だと感じました。
 相互理解は言葉で言い表したり、表面上は理解しあっているように振る舞うことはそこまで難しくはないと思いますが、表面だけでなく真に相互理解に至るのは簡単ではないと思います。
 ただ、そこを諦めてしまっただけは何にもならないので、抽象的で申し訳ないですが、そういった部分をしっかり考えられるような職員でありたいと感じました。
 ・冒頭がNPOの成り立ちや歴史的な内容が唐突に始まり、研修の目的や趣旨がつかみにくかった。

【問2】 今回の研修を受けて市の事業実施の手段として協働が効果的だと思いましたか。その理由をお書きください。

1.思った	9	81.8%
2.思わない	0	0.0%
3.わからない	2	18.2%



【思った】

・限られた職員数で、各事業で実働できる人数に限られる中、事業に詳しくフレキシブルにご対応いただける他の機関のかたと連携できるのはありがたく、双方活動の幅が広がるのではないかと感じた。

・市職員のみや一つの課のみで事業実施を行うと、同じような意見が出ることが多く、多角的な意見が集まらないように感じる。協働での事業実施を行うことで、より柔軟で、多くの意見が集まり、より市民に寄り添った活動を行うことができると思う。

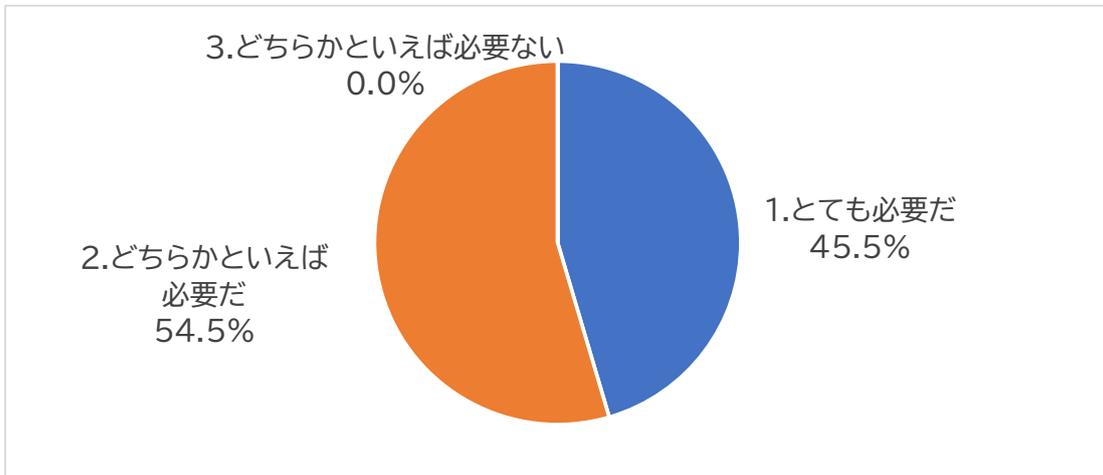
【わからない】

・具体的な部分までイメージすることができなかったため。

・協働自体は効果的だと思う。一方で、担当者が異動などで変わっていくことによりモチベーションが下がったり、持続性が低下することが行政組織側の課題。

【問3】協働の必要性の度合いについて

1.とても必要だ	5	45.5%
2.どちらかといえば必要だ	6	54.5%
3.どちらかといえば必要ない	0	0.0%
4.必要ない	0	0.0%

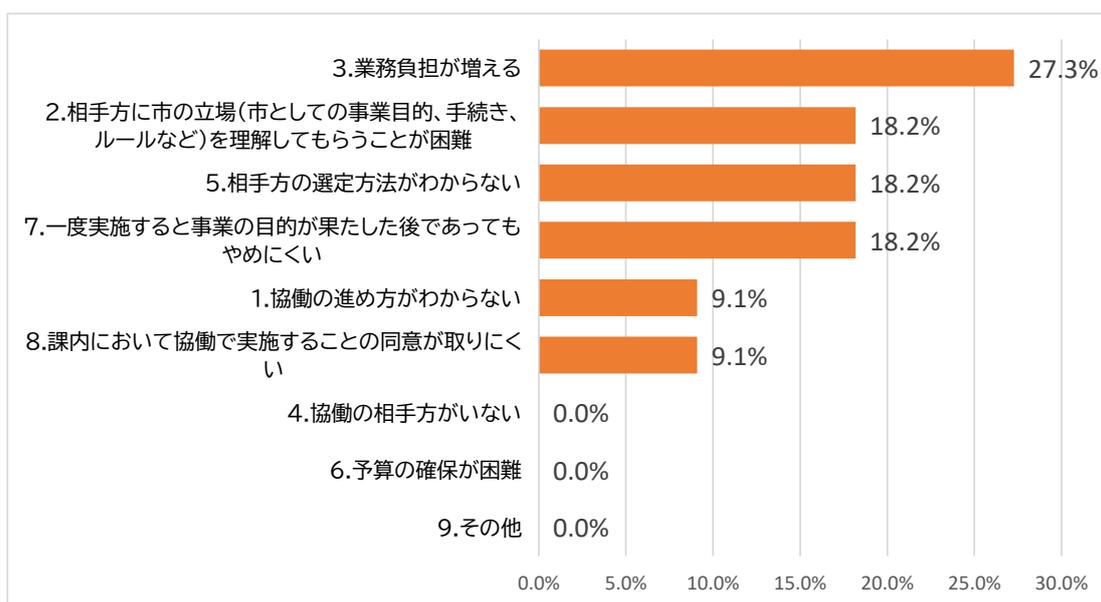


【どちらかといえば必要だ】

- ・本市が共生社会の実現を目指しているため。
- ・自分の知識量では、今すぐ必要な事業を把握していないが事業の開始・推進のためにはよい切り口になると考えるため

【問4】協働を実施するにあたり課題になることは何ですか

3.業務負担が増える	3	27.3%
2.相手方に市の立場(市としての事業目的、手続き、ルールなど)を理解してもらうことが困難	2	18.2%
5.相手方の選定方法がわからない	2	18.2%
7.一度実施すると事業の目的が果たした後であってもやめにくい	2	18.2%
1.協働の進め方がわからない	1	9.1%
8.課内において協働で実施することの同意が取りにくい	1	9.1%
4.協働の相手方がいない	0	0.0%
6.予算の確保が困難	0	0.0%
9.その他	0	0.0%



【業務負担が増える】

- ・相手方とのやりとり、事前当日対応でかなり負担が増える。専門になるなら良い政策だと思うが、普段との業務との兼務になるため厳しい。
- ・普段の業務に追われているため、協働での事業を行う時間がない。

【相手方に市の立場(市としての事業目的、手続き、ルールなど)を理解してもらうことが困難】

- ・相手方には実現したい目標があるが、市にはその目標を妨げてしまいかねない条例等のルールが設定されている可能性があるため

【相手方の選定方法がわからない】

- ・選定基準の設定がむずかしい

【一度実施すると事業の目的が果たした後であってもやめにくい】

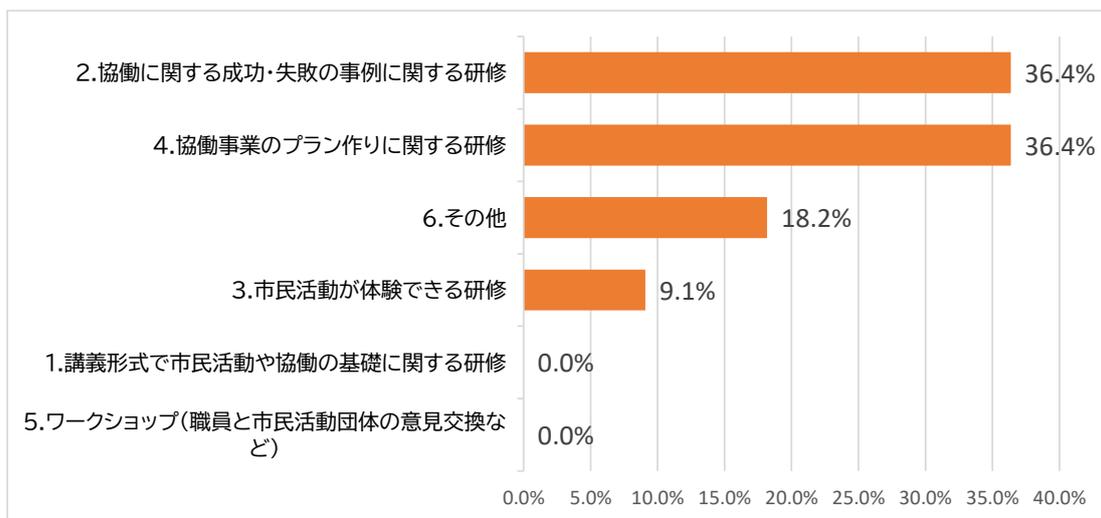
- ・協働を手段とらえた場合、終了するタイミングが必ず来ると思うが、終了できないのであれば開始も難しいと思う。

【課内において協働で実施することの同意が取りにくい】

- ・上長が必要と判断しないと進まない可能性が高い

【問5】 今後、どのような研修があれば協働の推進に役立つと思いますか。受けてみたい研修内容を選択してください。

2.協働に関する成功・失敗の事例に関する研修	4	36.4%
4.協働事業のプラン作りに関する研修	4	36.4%
6.その他	2	18.2%
3.市民活動が体験できる研修	1	9.1%
1.講義形式で市民活動や協働の基礎に関する研修	0	0.0%
5.ワークショップ(職員と市民活動団体の意見交換など)	0	0.0%



【その他】

- ・協働に関する成功・失敗の事例に関する資料の提供。(研修の形では不要)
- ・実際に研修を等して、協働事業を継続的にやってみることで協働の必要性や持続性の難しさを体感することが大切だと思う。

【問6】 市民活動や協働の推進にかかる施策についてご提案やご意見等がございましたら、ご記入ください

【自由記述】

なし